

松波小学校だより

第7号
令和7年10月30日
能登町立松波小学校

体験の中で育つ力

秋の深まりとともに、朝夕の空気が一段とひんやりと感じられるようになりました。校庭の木々も少しずつ色づき、子どもたちの元気な声が秋の澄んだ空に響いています。

保護者の皆さんには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。10月は、まさに「実りの秋」にふさわしい、学びと成長の機会がありました。

6年生は宿泊体験学習で、仲間と協力しながら活動に取り組み、助け合うことの大切さや、自分の役割を果たす责任感を学びました。普段の教室とは違う環境の中で、友だちの新たな一面を見つけ、互いを認め合う姿が見られました。子どもたちの表情からは、確かな自信とたくましさを感じることができました。

1～5年生は、1・2年生、3～5年生でバス遠足に出かけました。自然や社会の中での体験を通して、教室では得られない学びをたくさん重ねることができました。友だちと協力し、思いやりながら過ごす時間の中で、集団行動の大切さを実感した子どもたちも多かったようです。帰ってきた子どもたちの笑顔からは、充実した一日の様子が伝わってきました。



このように、10月の行事を通して、子どもたちは多くの体験を積み重ね、それぞれの場面で心を大きく成長させていきます。学校ではこれからも、体験を通して学ぶこと、仲間とともに学ぶことを大切にしながら、一人ひとりが生き生きと活動できる環境づくりに努めてまいります。

これから寒さが増してくる季節となります。体調を崩しやすい時期でもありますので、どうぞご家庭でも健康管理にご留意ください。子どもたちが笑顔で登校し、充実した毎日を過ごせるよう、学校と家庭、地域が手を携えて歩んでいければと思います。

引き続き、温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

能登町立松波小学校 校長 宮本 秀人

9月27日（土）に、今年度のPTAなかよし学校が開催されました。今年度も能登少年自然の家が使用できないことから、PTA役員会で協議を重ねた結果、「子ども縁日」という形で実施することとなりました。当日は、多くの児童・保護者の皆様にご参加いただき、大変盛大な会となりました。開催後のアンケートでは、「子どもたちがとても楽しんでいた」「また参加したい」といった声を多くいただきました。子どもたち自身からも、「楽しかった！」「また行きたい！」という感想が多く寄せられました。

また、会を支えてくださったPTA役員、サポート隊の皆さんへの感謝の言葉も寄せられました。PTA役員の皆様、サポート隊の皆様、そしてご協力いただいた関係各所の皆様、本当にありがとうございました。

